

2021年4月16日

Press Release

楽天モバイル株式会社
国立大学法人東京工業大学

楽天モバイルと東京工業大学、 5G ネットワークに関して協業する合意書を締結

- 東京工業大学の大岡山キャンパスを5G化し、地域社会に根差した実証実験に向けて合意 -

楽天モバイル株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：山田 善久、以下「楽天モバイル」）と国立大学法人東京工業大学（住所：東京都目黒区、学長：益 一哉、以下「東京工業大学」）は、5G ネットワークに関して相互に協力する合意書を2021年3月19日に締結しました。両者は、5G ネットワークを活用する様々な実証実験に向けた取り組みを進めるとともに、東京工業大学が設立した「超スマート社会推進コンソーシアム」と連携し、超スマート社会（Society 5.0）の実現に向けたイノベーションの創出を目指します。

大岡山キャンパスにおける5Gエリアの展開イメージ



今後、楽天モバイルは、東京工業大学の大岡山キャンパスとその界隈に、エンドツーエンドの完全仮想化5Gネットワーク環境（注1）を構築します。楽天モバイルと東京工業大学は、2021年3月19日から2025年3月18日にかけての4年間にわたり、近隣地域の発展や地域課題解決のた

め、5G NR (Sub6・ミリ波) を活かした実証実験を進め、スーパースマートタウン (注2) のモデルケースを構築します。

東京工業大学は、超スマート社会の実現を推進する「超スマート社会推進コンソーシアム」を2018年に設立しており、参加機関と連携して人材育成から研究開発までを統合した新たな次世代型社会連携教育研究プラットフォームを構築しています。楽天モバイルは同コンソーシアムに2020年11月より参加しています。

楽天モバイルと東京工業大学は、今後も、5Gネットワークの「超高速・大容量」、「超低遅延」、「多数同時接続」という特性を活かし、5Gおよび地域社会に貢献するテクノロジーの普及促進に取り組んでまいります。

(注1) エンドツーエンドの完全仮想化とは、無線アクセスネットワークからコアネットワークまでのモバイルネットワークを完全仮想化していることを言います。

(注2) 東京工業大学が掲げるスーパースマートタウンとは、5Gの高速大容量・低遅延伝送のポテンシャルを活用したスマートナビゲーション・スマートショッピング・スマートモビリティなどの新たなサービスの創出により、よりよい暮らしを実現し地域の活性化を図る取り組みのことを指します。

以上

【報道関係者からのお問い合わせ先】

楽天モバイル株式会社 広報部

TEL : 050-5817-4170 E-mail: rmobile-pr-s@mail.rakuten.com

※楽天広報部では新型コロナウイルス感染予防のため在宅勤務を実施中です。お手数お掛けしまして大変申し訳ありませんが、お問い合わせにつきましてはメールにていただきますようお願いいたします。担当者より順次ご案内させていただきます。

国立大学法人東京工業大学 総務部広報課

E-mail: media@jim.titech.ac.jp